

公益財団法人 大学セミナーハウス主催 駐日欧州連合代表部後援
グローバルアカデミーセミナー 第14回EUセミナー

パワー・ポリティックスに 回帰する世界とEUの再編

開催日時：2026.9.25(金)～27(日)

開催形式：対面宿泊型セミナー

開催場所：大学セミナーハウス

(東京都八王子市下柚木1987-1)

【特別講演】

駐日欧州連合(EU)公使・副代表 トーマス・ニョッキ氏



開催趣旨

ウクライナ紛争、ガザ紛争から米・イスラエルによるイラン・レバノン攻撃に至る中東紛争は1956年のハンガリー・スエズ動乱の同時進行を彷彿させる。しかもその中心にいるのは依然として米露両核大国だ。しかし中国やインドに加えてグローバルサウスと呼ばれる諸国は冷戦時代のようなわき役ではない。

世界がパワー・ポリティックスに回帰する中で欧州の立ち位置はどうあるべきか。「デモクラシー、平和と繁栄」を掲げる欧州統合は今改めて歴史の挑戦を受けている。このような視点から理念、組織・制度面でのEUの将来像について再考してみよう。

EUセミナー企画委員長 渡邊啓貴

募集対象：大学生(大学院生、留学生を含む)、高校生、社会人

募集人数：60名

参加費：協力会員校：16,000円(高校生を含む)

一般校：19,000円 社会人：26,000円

*参加費には、宿泊費・食事費、消費税を含みます。

※セミナー講師のゼミ生・または講師の紹介でご参加の方は、会員校料金

申込方法：「大学セミナーハウスHP申込フォーム」よりお申込ください

<https://iush.jp/seminar/2026/04/658/>

EUセミナーご案内ページ→



募集締切：2026年9月4日(金)

問合せ先：公益財団法人大学セミナーハウス セミナー事業部

TEL:042-676-8512(直) Email:seminar@seminarhouse.or.jp

※聴講希望について：社会人の方を対象に 全体会(基調講演+分科会講師講義)と特別講演(EU代表部)のみの聴講を募集します。定員：20名・参加費：3,000円 ★詳細はEUセミナーご案内ページをご覧ください。

開催プログラム

■1日目 9月25日(金)

17:00～ 受付
17:30～ 夕食
19:00～ 開会
19:20～ 全体会I-(1)基調講演+講義
21:15 分科会討論(1)
～22:15

■2日目 9月26日(土)

7:30～ 朝食
8:45～ 学生幹事会連絡会
9:00～ 全体会I-(2)講義
10:15～ 特別講演
12:00～ 記念撮影・昼食
13:00～ 分科会討論(2)
18:00～ 夕食
19:30～ 全体会II 中間報告
21:00 参加者懇談会
～22:00

■3日目 9月27日(日)

7:30～ 朝食・宿泊室を退室
9:00～ 分科会討論(3)
12:00～ 昼食
13:00～ 分科会討論(4)
14:30～ 全体会III 最終報告会
16:20～ 出席証明書配布・閉会

公益財団法人大学セミナーハウス主催 駐日欧州連合代表部後援

グローバルアカデミーセミナー 第14回EUセミナー

パワー・ポリティックスに 回帰する世界とEUの再編

特別講演：駐日欧州連合（EU）公使・副代表 トーマス・ニョッキ 氏

渡邊 啓貴

帝京大学法学部教授
東京外国語大学名誉教授



小久保 康之

東洋英和女学院大学名誉教授



第1分科会

戦略的自立をめざすEU

EUは2010年代から戦略的自立（Strategic Autonomy）という概念を打ち出し、国際協調主義を掲げつつも、特定の分野で、特定の国に「過度に依存せずに自立できる道」を探ってきた。2022年のロシアによるウクライナ侵攻は、その流れを加速させることになり、防衛分野での強化は一層急務となっている。更に、トランプ第2期政権の発足で、欧米関係に亀裂が走り、2026年の対イラン戦争でその溝は深まっている。帝国主義時代に逆戻りするかのような国際秩序再編の中で、EUはどのように戦略的自立を推進しようとしているのか。幅広い政策領域でEUが直面している課題について包括的に検討する。

第2分科会

新帝国主義とEUードイツ経済を中心にー

トランプ関税、ロシアのウクライナ侵攻、中国の過剰生産と安値輸出攻勢に加えて、イラン戦争によるエネルギー価格の高止まりという新帝国主義の圧力が、EU経済を締め付けている。EUの経済成長は、その土台を問い直されている。EU最大の経済大国ドイツも、製造業の競争力低下、企業の海外移転、エネルギー転換コストの重圧が重なり、かつての「欧州の機関車」は失速に悩む。第2分科会では、新帝国主義と対峙する中でEU・ドイツ経済が直面する構造的困難を整理し、軍事・インフラ投資を含む国家戦略の可能性を問う。

田中 素香

中央大学経済研究所客員研究員
東北大学名誉教授



太田 瑞希子

日本大学経済学部准教授



蓮見 雄

立教大学経済学部特別専任教授



中西 優美子

一橋大学大学院法学研究科教授



第3分科会

EUのデジタル転換ー期待と現実

EUでは世界初のAI法を制定し、AI倫理をめぐる議論も深まっている。EU一般データ保護規則（GDPR）による個人データ保護と並行して、データの円滑な利用を促す政策も進められている。このようにEUは、AI法・データ法等を通じて、信頼できる情報の流通・共有・活用を支えるデジタル市場の整備を進めている。だが、これがEUのDX競争力強化に直結するかは定かではない。競争の鍵は、スケール、資本市場、先端企業群、デジタル技術にあり、本分科会では、EUの先進的なデータ経済の制度設計を学びつつ、その可能性と課題を検討する。

河越 真帆

神田外語大学グローバル・リベラルアーツ学部教授



福田 智洋

東海大学政治経済学部講師



第4分科会

EUガバナンスの再検討

長期化するウクライナ戦争や不安定な中東情勢は、欧州地域の安全保障環境だけでなく、EU内部の仕組みにも波紋を投げかけている。欧州各国は外部からの危機への対応に難儀し、加盟国の足並みは乱れつつある。しかしEUは、欧州統合の進展の中で多くの政策分野における共通政策を構築してきた。合意形成・利益調整のための仕組みも他地域と比較して高度に整備されてきた。このようにして成立した欧州ガバナンスは、目下の危機を目の前にして無力なのだろうか。本分科会では「安全」をキーワードとして、欧州ガバナンスの成果と課題について考えてみたい。

分科会 ご関心のあるテーマ（分科会）を申込時に選んでいただけます。希望者多数の場合は調整させていただきます。
分科会では講師指導のもと、問題設定・説明・まとめといった段取りで議論を展開します。

出会いの丘へようこそ

大学セミナーハウス
INTER-UNIVERSITY SEMINAR HOUSE